

Can!

まるいじかん

篠山東中学校 1学年・学級通信

第63号 発行者 大垣恵子

2019(平成31)年2月13日発行

実力テストが終わったと思ったら、もう学年末テスト範囲をもらいました。最後のテストに向けての取り組みは、計画通りにできていますか?いつまでも「次こそは」とは言つていられません。どうとうラストテストが近づいてきましたよ!がんばれ!

スキー学校三日目 ~セレモニー・就寝準備等~

- 怖いけどスリル満点楽しいな
- スキーよりリフトの方が怖かった
- 思い出の最後の一回こけ笑う

私はスキーにも雪山にも行ったことがないので、緊張していました。林間コースは左側はくねくねと曲がって難しかったのと、右側の最後の坂が急でスピードが出てきてこけてしまいました。4人乗りの高速リフトが急に止まったとき、放り投げられるかと思って怖かったです。左の山のリフトは安全バーがなくて、風も強かったので、本当に怖かったです。でもだんだん慣れて、早く滑られたのでよかったです。最後の一回の時、絶対こけない!と言い合っていたのに、二人ともこけたのですっと笑っていました。あと少し足をそろえて滑られたので、よかったです。宿舎での食事はたくさんの量があって、おなかいっぱいになりました。どれもおいしいのばかりで、すき焼きのお肉がとてもおいしかったです。スキー学校では、スキーや挑戦の楽しさ、感謝を伝えることを学べたと思います。全員で帰ってこられなかったのは残念だけど、みんなが先を見て行動したり、役割を果たせたのがよかったです。これから学校生活でも続けて、当たり前にできるようにしたいです。

- タタのスキーとすき焼きだいまんぐ!
- がんばれたスキーモシリモ最後まで!
- また行きたい!みんなと一緒にスキーしに♥



スピードが出て思うように滑れなかつたりしたときも、インストラクターの方が、一つ一つていねいに教えてくれたので、最後は怖かったスキーも楽しく滑ることができました。三日目は大垣先生と一緒にスキーを滑りました。大垣先生はスイスイ滑っていて「かっこいいなあ」とつい見つめてしまいました。その後「ヒヤッホー」と言いながら、東浦先生が通っていましたので、ビックリしました。しかし大会でも、声の大さや立ち位置などのアドバイスをもらい、できたときは「それでいいよ」と言ってもらったり、間違えたときも「大丈夫」と言ってもらえて、自分に自信を持って最後までできました。ご飯もおいしくて、みんなで分けて食べると、すごくおいしかったです。お風呂も広くてすごく楽しく過ごせました。部屋のみんなも優しくて、すごく楽しかったです。スキー学校が終わり、なにだか寂しいです。でも「スキー学校大成功だったなあ」と心から思えた3日でした。また、スキーにいつてこの楽しさを味わいたいです。

- 初のスキー刹车がかけられず怖かった
- 坂道の雪とけていてビックリだ
- 最終日好きにすべて気持ちいい

一日目は刹车がかけられなくて、遠いところまですべってしまうことが何回もあって大変でした。でもやっているうちにコツが分かってきて、ちゃんと止まれるようになってうれしかったです。晩ごはんのすき焼きはものすごくおいしくて、特にうど



んがおいしかったです。でも量が多くて、最後の方は食べるのがしんどかったです。二日目はスキーに慣れてきて、林間で景色を見る余裕があったので、見たらものすごくきれいでいた。後半はカーブが多くて難しかったけど楽しかったです。三日目はめっちゃ楽しみました。雪がたくさん積もっていて、すべるのが楽しかったです。コーチを抜かさないということを条件に好きなようにすべりました。人も少なかったので、スピードを出せて楽しかったし、すべっているときの風が気持ちよかったです。お昼ご飯のチャーハンとわかめスープがめっちゃおいしかったです！！親にお願いして、友達とすべりにいこうと思いました。



セレモニーではみんなで4月から振り返り、1年が終わるまでのあと2ヶ月、そして3年生の卒業までこのメンバーで、どんなことを頑張っていくのか、どんな集団になろうと思うのかを、厳かな雰囲気の中で誓いました。

4月、期待と不安の入季式。「まるいじかん」を年目標に1年がスタートしました。元気いっぱいの35人。…すべてが順調にきたわけではありませんでした。自分中心に考えてしまって、友達を傷つけてしまったこと、分かっていてもルールを守れず、失敗してしまい、周りに迷惑をかけたこと。素直になれない自分に悩んだこと。でも、クラスメートや先輩、先生方が支えてくれて、今の自分があります。昨日までの自分。明日からの自分。そして、34人の仲間の絆を大切に、これからもみんなで素晴らしい思い出をひとつひとつ創っていきましょう。今日この場で、みんなで見つめた火。悩んだり、泣いたり、笑ったり…そのような経験が、私たちを将来すばらしい人間に成長させてくれるのです。「One for all～自律・責任・感謝～」。私たちはいつまでも、この青春のひと時を忘れません。一瞬一瞬のみんなの表情をしっかりと心に刻んでおきます。私たちは決して一人で歩いているのではないのです。次の新しい一步をみんなで踏み出しましょう。

～セレモニーより～



←班長会議。一日のよかつたところ、改善したらいいところを確認し合い、明日に生かすよう部屋会議で連絡しています。→



スキー学校後の成長。スキー学校から帰ってきて、もう1ヶ月が経ちました。早いですね。でもこの1か月間に、君たちの成長がたくさん見られました。まず「時間を守り、言われなくとも動けるようになってきたこと」。これによって、3分前着席ができるようになったり、朝の会・終わりの会もスムーズに始め、終わることができ、時間にゆとりが生まれるようになりました。おは読も2~3分前に全員が静かに読書を始めて感激しましたし、給食も自分たちで時間内に準備できるようになりました。感動しました。他にも「授業の中でのメリハリがつけられる」とようになってきて、話し合うときと話を聞くときの切り替えがすばやくなりました。また、「忘れ物が減りました」。漢字ノートも今のところ1年生だけが一日も忘れず提出できています。荷物の出しち放しも少なくなりました。だから、大きな声を出して注意することもなく、みんなと笑顔でいろんな話をして過ごすことが多くなりましたよね。セレモニーで誓った言葉、スキー学校を終えてクラス全員で話しあつたこと、それが「単にやっただけ」に終わらず、次の行動に生かされていることが素晴らしいと思います。日々、確実に大人へ成長している姿を見てくれる君たち。1年生として34人で授業を受けられるのも、今日を含めあと27日(+)です。プラスの言葉、プラスの行動である毎日を過ごしたいですね。最後まで「やればできる！」「まだまだ成長できる！」CAN！です！！

